

投稿規定

1. 投稿資格は、社叢学会正会員または正会員 1 名を含むメンバーとする。
2. 投稿原稿は、研究論文・研究ノート・短報・活動報告・その他とする。
3. 投稿原稿は、原則として四百字詰原稿用紙 40 枚以内とする。図版・写真等はその枚数に含める（ただし、出来上がりが 8 ページを超える場合は、印刷実費分を自己負担とする）。
4. 投稿原稿は電子データを提出し、打ち出し原稿を添付する。
5. 投稿原稿の採否は、編集委員会において決定する。
6. 投稿原稿は、原則として返却しない
7. 投稿原稿執筆者には掲載五部を進呈する。抜刷は希望に応じ執筆者の負担において作成する。
8. 論文、研究ノート、資料紹介等の投稿締切りは、毎年 10 月末日とする。そのほか短文のものは 1 月 10 日とする。
9. 投稿原稿の提出先は、社叢学会事務局とする。
10. その他必要な事項は編集委員会において決定する。

以上

論文の書き方について

論文は下記の体裁で提出すること

- 1) 表紙
- 2) 要旨（省略可）
- 3) 本文
- 4) 引用文献
- 5) 図のタイトルと説明
- 6) 図
- 7) 表をそれぞれ別紙に記載する
- 8) 謝辞がある場合には本文の最後に記述する。

引用文献の記載について

[縦書きの場合]

1. 本文中の引用部分に（ ）に入れて、(1)、(2)、(3)…と引用順に示す
2. 本文の文末に注(1)、(2)、(3)…と引用順に並べる。なお、本文中に著者名、著作名を記載した場合は省略できる
3. 記述方法は下記の通り
 - ・ 雑誌からの引用 < 筆者名「表題」(『雑誌名』巻、発行年) 初頁・終頁。 >
 - ・ 単行本からの引用
 - ・ 単著の場合 < 著者名『表題』(出版社、発行年)。 >
 - ・ 共著の場合 < 筆者名「表題」(単行本著者名『単行本表題』出版社、発行年) 初頁・終頁。 >

(森野太郎「社叢の総合理論」(『社叢学研究』十四号、二〇一六年) 一頁・五頁。)
(山川花子『鎮守の森の研究』(非凡社、二〇一七年。))

[横書きの場合]

1. 本文中で複数の文献を引用する場合

- ・ 発表年の古いものから順に並べる
- ・ 同一発表年のときは著者のアルファベット順に並べる
- ・ 著者と出版年が同一の文献は、年号の後にアルファベットを付して区別する
- ・ 著者が3名以上で第一著者・出版年が同じ文献も同様に区別する
- ・ 著者が3名以上の文献については、第二著者以降を、和文のものは「…ほか」、英文のものは「… et al.」とする
- ・ 記述は下記の例に準ずる

文例) ～～が明らかにされている(森・夏目 1990; 永井ほか 1992; 島崎 1992; Young 1997; 松井ほか 2000a, b; Mann et al. 2002)。

2. 引用文献を文末に別記する場合は、本文中に引用したものすべてを著者のアルファベット順に記載する。記述は下記の例に準ずる。

- ・ 雑誌からの引用 <筆者名(発行年) 表題. 雑誌名, 巻:初頁-終頁>
- ・ 著者名は姓が先、名を後とし、間に半角スペースを入れる。著者名間は半角コンマとスペースで区切る。
- ・ 単行本からの引用
 - ・ 単著の場合<著者名(発行年) 表題. 出版社, 出版社所在地>
 - ・ 共著の場合<筆者名(発行年) 表題. (単行本著者名) 単行本表題, 初頁-終頁. 出版社,出版社所在地>

★ 「印刷中」(in press)の文献について

「印刷中」(in press)という用語は、その論文が受理されている場合にのみ使用し、未受理の場合には、本文中で「未発表」と記し、引用文献リストに入れない。印刷中の文献は、刊行年度が未定か確定かによって、それぞれ以下のように記す。

森野太郎(印刷中) 社叢の総合理論. 社叢学会誌

山川花子(2017) 鎮守の森の研究. 社叢学会誌(印刷中)

★ 論文中に引用できるインターネット上の資料について

- ・ 原則として情報の永続性が保たれているものに限る
- ・ 永続性の判断が困難な資料の引用については、編集委員会の指示に従う
- ・ 電子ジャーナルは引用文献に他の印刷物と同様の形式で記載する
- ・ データベース等は引用文献には記載せずに、本文中に URL、確認した日付、必要なら掲載責任者名を記す(例:「植林計画(国土省京都事務所)」、<http://www.abc.def.or.jp/ghi/>、2015年11月2日確認)。
- ・ Facebook、Twitter、InstagramなどのSNS(Social Network Service)は引用文献にはできない

★ その他

- ・ 参考文献の記載について: 参考文献を上げたい場合は文末に別記し、著者のアルファベット順に記載する。記述法は引用文献に準ずる。
- ・ SNS は参考文献にはできない

以上